

Sバス西部線の見直しについて

<経緯>

Sバス西部線の主な運行区域である千郷地区は、高齢者への支援対策を重要な課題として、「千郷地域計画」に位置付けている。

その一環として、高齢者のおでかけ促進や買い物等困難者の解消を図り、高齢者が安心して暮らしやすい地域を目指し、移動手段の確保のための施策検討や事業提案を行う地域住民を主体とした検討組織「千郷地域の足の確保検討委員会」を発足した。

地元の民生委員の協力により、高齢者の移動ニーズ調査を実施し、Sバス西部線のほか、様々な移動手段の確保について意見を出し合い検討を進めてきた。

<検討課題>

Sバス西部線は、平成28年度に川田地区、豊島地区をカバーする路線延長を行ったが、現状では、片山区、徳定区、今出平区、中市場区、石田区、野田区、大野田区、上市場西住宅区が高齢者にとって公共交通不便地域となっている。

また、新都市において最も人口の多い千郷地区は、大型スーパーの出店や医療機関の開業などが相次いだ、Sバス西部線を運行開始以降、地域住民の移動ニーズの変化に対応できていない。

<Sバス西部線見直し案の検討状況>

路線名	西部線
運行形態の概要	(変更前) 運行方法：定時定路線運行 (変更後) 運行方法：区域運行（一部定時定路運行）
変更理由	利用状況及び地域住民との協議を踏まえ、運行の効率化を図るとともに全地域住民が利用できるようにする。
運行時間帯	午前7時台～午後5時台
運行日	月曜日～金曜日 (土曜、日曜、祝日、振替休日及び12月29日～1月3日まで運休)
運行本数	1日往復5回
バス停数	(変更前) 27箇所 (変更後) 47箇所となる予定
料金体系	大人：200円 小学生・障がい者：100円
運行事業者	豊鉄タクシー株式会社
市の関与	運行業務委託契約
運行車両	1台（9人乗りハイエース）
路線概要図	別紙のとおり